

## ●モンゴル

モンゴルの経済は、自国の早期の対応と地域での集団発生の防止にもかかわらず、COVID-19の世界的大流行の影響によって大きな打撃を受けた。これまでに確認されたすべての感染は国外から持ち込まれたものであった。3月に政府によって発表された、景気後退を緩和し、パンデミックに対する医療能力を改善するための最初の刺激策は、国の年間予算の40%以上を占めている。さらに、ADB、世界銀行、日本およびその他の援助国、援助機関から多数の迅速な対応融資および助成金が提供された。

### マクロ経済

2020年第1四半期のモンゴルの実質GDPは、COVID-19の世界的流行に伴う経済活動の鈍化により、前年同期比10.7%減少した。鉱業部門は最も大きな打撃を受けており、縮小の7.6パーセントポイントを占めた。モンゴルの鉱業輸出の実質的に唯一の輸出先である中国経済の収縮により、鉱業製品の需要は減少し、鉱業部門の付加価値は実質ベースで前年同期比29.5%減少した。封鎖、制限、厳格な国境通過手続きなどのCOVID-19

のパンデミック対策がこの状況を助長した。サービスはパンデミックに苦しんでいる第二の主要なセクターであり、収縮の3.3パーセントポイントを担っている。サービス部門の付加価値は、2020年第1四半期に前年比6.8%減少した。

鉱工業生産額（GIO）は引き続き低下し、2020年第1四半期には前年同期比9.3%減で、2020年4月と5月にはそれぞれ18.5%減と23.4%減と下落幅が拡大した。累積すると、鉱工業生産額は1-5月期で前年比18.6%減少したが、そのうち鉱業生産は前年比23.4%減少した。モンゴルの主要な輸出商品の1つである石炭生産高は、2020年の1-5月期で1,060万トンに達した。これは前年の半分近く（49.5%）であった。金と鉄鉱石を除いて、実質的にすべての鉱業商品の生産が低下した。この期間中、製造業の生産も前年比10.5%減少した。

2020年5月末の登録失業者数は19,800人で、前年より15.8%減少した。しかし、労働力調査（LFS）によると、2020年第1四半期末の失業者数は82,666人であり、失業率は6.6%だった。したがって登録失業者数の変化は実情を反映していない。常識に反して、経済が縮小すると登録失業者の数が減少することが観察

されることから示唆される。これは失業保険のカバー率が低いことに関連している可能性がある。失業者の多くは失業給付を受ける資格がなく、したがって登録をする動機が働かないのである。

2020年4月の消費者物価（CPI）上昇率は前年同期比4.7%であったが、5月には3.3%減少した。しかし、CPIのバスケットの26.1%を占める食品および非アルコール飲料は5月に前年同期比4.7%上昇した。食品以外のCPIは前年同期比2.6%増加した。同時に、CPIのバスケットの3番目に大きい（全体の14.4%）項目である輸送は、国内および国外の旅行制限の影響による需要の減少により、前年同期比6.8%低下した。しかし5月には同7.9%に上昇した。

通貨トゥグルグの対米ドル平均為替レートは下落を続け、2020年4月の1ドル=2783トゥグルグと5月の1ドル=2797トゥグルグで、それぞれ前年同月比5.6%、5.7%の減価となった。

2020年1-5月期の国家財政収支は急速に悪化し1兆5790億トゥグルグの赤字であった。期間中の均衡収入と援助の合計は3.3兆トゥグルグで前年同期比15.4%減少し、総支出と純貸付は4.9兆トゥグルグで29.3%増加した。税収は前年同期比

14.9%減、税外収入は前年比20.7%減少した。税収はそれぞれ前年同期比3.3%と3.2%増加した個人所得税と車両固定資産税を除いてすべての税目で減少した。以前より小規模だが、総予算収入と援助から2,100億トゥグルグが未来遺産基金に、96億トゥグルグが安定化基金に割り当てられた。予算支出は経常支出で前年同期比27.3%増加し、資本支出で前年同期比57.6%増加した。経常支出の40.8%は財・サービスへの支出であった。

2020年5月末の貨幣供給量(M2)は、20兆5600億トゥグルグ(76.7億ドル)であった。これは前年同期を1.3%上回り、米ドル建てでは前年同期を4.2%下回っている。一方、2020年5月末の融資残高は17.2兆トゥグルグで、前年同期を4.4%下回っている。米ドル建てでは前年同期を9.6%下回っている。2019年5月末の不良債権比率は11.5%に上昇したが、その金額は自国通貨で前年同期比1.1%、米ドル建てで同5.5%減少した。

## 外国貿易

2020年1-5月期のモンゴルの貿易相手国は131カ国で、貿易総額は40億ドルであった。輸出は前年同期を38.5%上回

る20億600万ドルで、輸入は前年同期を13.9%上回る19億9200万ドルであった。この結果、貿易収支の黒字は前年の9億4800万ドルからわずかに1400万ドルに減少した。モンゴルの主要な輸出商品である銅精鉱の輸出は、1-5月期に輸出高で556,000トン、輸出額では6144億ドルで、数量と金額の両方で低かった。これらはそれぞれ前年同期比10.9%、31.2%の減少であった。同時期に4.9トン、2億6580万ドルの金が輸出され、前年同期比で数量で5.4%、金額で35.6%それぞれ増加した。

1-5月期、すべての主要品目の輸入が減少し、最も大きな減少は輸送車両とその部品であった。これらの品目の輸入は前年同期比で31.3%減少した。食料品の輸入の減少は前年同期比1%と最小でした。

1-5月期、中国は引き続き最大の輸出先および輸入元であり、輸出の82.7%、輸入の34%を占めた。モンゴルの唯一のEPAパートナーである日本からの輸入は、前年同期比39%減の1億4900万ドルで、日本への輸出は前年同期比19.7%減少した。

## 輸送

経済活動の鈍化と輸出入の減少に

よって2020年第1四半期の総貨物回転率は前年比6.3%減少した。特にモンゴルの鉱業品の輸出出荷の大部分は道路輸送によって処理されるため、道路貨物回転率は前年比53.8%減少した。またCOVID-19パンデミックによる厳しい国境通過制限に直面した。ただし、2020年第1四半期の鉄道貨物の売上高は、道路および航空貨物の規制が厳しくなったため前年比10.3%増加した。

## 家畜及び農業

2020年1-5月期において、牝の繁殖用家畜の72.9%にあたる2260万頭が出生し、仔の生存率は95.9%であった。成畜の自然損失は120万頭で、前年同期を95%上回った。

2020年6月1日の時点で、モンゴルの総播種面積は37万5100ヘクタールで、そのうち84%が小麦に播種されている。ジャガイモと野菜はそれぞれ1万3500ヘクタールと5400ヘクタールに播種され、飼料と工業作物の播種面積はそれぞれ9500ヘクタールと2万1000ヘクタールであった。

ERINA 調査研究部主任研究員

エンクバヤル・シャクダール

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2019年 1Q	2019年 2Q	2019年 3Q	2019年 4Q	2020年 1Q	2020年 4月	2020年 5月	2020年 1-5月
実質 GDP 成長率(対前年同期比:%)	2.4	1.2	5.3	7.2	5.1	8.6	6.4	4.6	2.2	▲ 10.7	-	-	-
鉱工業生産額(対前年同期比:%)	8.8	12.3	13.0	4.8	2.4	11.5	6.6	2.8	6.0	▲ 9.3	▲ 18.5	▲ 23.4	▲ 18.6
消費者物価上昇率(対前年同期比:%)	1.9	1.1	4.3	6.8	7.3	7.0	7.7	8.4	6.0	6.1	4.7	3.3	5.3
登録失業者(千人)	32.8	34.4	25.5	25.0	20.8	21.8	23.0	20.4	20.8	19.4	20.7	19.8	19.8
対ドル為替レート(トゥグルグ)	1,971	2,146	2,441	2,473	2,664	2,639	2,645	2,667	2,704	2,757	2,783	2,797	2,770
貨幣供給量(M2)の変化 (対前年同期比:%)	▲ 4.6	19.8	30.5	22.8	7.0	22.5	16.6	14.0	7.0	3.8	1.6	1.3	1.3
融資残高の変化(対前年同期比:%)	▲ 6.4	6.1	9.6	26.5	5.1	23.5	18.3	11.1	5.1	▲ 1.8	▲ 2.8	▲ 4.4	▲ 4.4
不良債権比率(%)	7.4	8.5	8.5	10.4	11.5	10.7	10.5	10.9	10.1	10.7	10.9	11.5	11.5
貿易収支(百万 USドル)	872	1,558	1,863	1,137	1,492	486	559	302	145	▲ 126	▲ 87	227	14
輸出(百万 USドル)	4,669	4,917	6,201	7,012	7,620	1,772	2,167	2,007	1,674	1,035.8	337.8	632.7	2,006
輸入(百万 USドル)	3,798	3,358	4,337	5,875	6,128	1,286	1,608	1,705	1,529	1,161.6	424.8	406.1	1,992
国家財政収支(十億トゥグルグ)	▲ 1,157	▲ 3,660	▲ 1,742	3	▲ 628	194	108	183	▲ 1,112	▲ 276	▲ 367	▲ 935	▲ 1,579
国内貨物輸送(対前年同期比:%)	▲ 20.5	20.0	15.3	14.6	7.4	9.5	6.5	16.2	▲ 1.8	▲ 6.3	-	-	-
国内鉄道貨物輸送(対前年同期比:%)	▲ 8.1	7.9	9.1	13.5	13.5	12.6	14.3	14.4	12.8	10.3	3.7	4.1	12.0
国内道路貨物輸送(対前年同期比:%)	▲ 51.9	78.4	33.6	17.3	▲ 6.6	1.5	▲ 13.6	21.6	▲ 38.4	▲ 53.8	-	-	-
成畜死亡数(対前年同期比:%)	56	230	▲ 39	300	▲ 58	▲ 74	▲ 66	▲ 66	▲ 58	89	150	60	95

(注)消費者物価上昇率、登録失業者数、貨幣供給量、融資残高、不良債権比率は期末値、為替レートは期中平均値。  
(出所)モンゴル国家統計局『モンゴル統計年鑑』、『モンゴル統計月報』各号 ほか